



らんらんと
ふれあいTAISHIに
でかけよう

林光寺
年越し知らせる
除夜の鐘

類似した
角屋の馬は
客寄せに

歴代の
天皇たちが
道を行く

ロマンのせ
阪奈を一望
二上山

⑤ 「ふれあいTAISHI」は、11月上旬に太子・和みの広場で開催される、太子町のイベントです。青少年健全育成強調月間の一環として開催されており、フリーマーケットのほか、ミニ動物園や模擬店、ステージではダンスや音楽演奏などの催しが行われます。多くの太子町民が楽しみにしており、毎年、大盛況でにぎわいます。

④ 林光寺は宝暦8年に現在の山田地内に再建されたお寺です。大晦日には近隣の人々が集まって除夜の鐘を撞き、年越しを知らせる除夜の鐘が鳴り響きます。除夜の鐘は多くの寺で108回撞かれますが、108の数の由来は、人間の煩惱の数、1年間を表す、四苦八苦を表すなど複数の説があります。

③ 角屋とは、竹内街道沿いの春日にあった由緒ある旅籠（宿屋）です。角屋のあった場所は竹内街道と和泉・富田林方面からくる太子道が合流する交通の要所となっており、花見時には多くの人が訪れたと言われています。角屋の前には、本物の馬と見間違えるほどに立派な馬像が置かれており、街道を通る馬が見惚れて立ち止まった、とされています。

② 太子町の秋の風物詩、竹内街道灯路祭と同じ日に時代行列が行われます。時代行列とは、聖徳太子や小野妹子、推古天皇などの太子町ゆかりの歴史上の人物に扮し、竹内街道を練り歩くイベントです。手作りの古代衣装や小道具で身を包み、雅楽隊の演奏の中、約1.5キロメートルの道のりを歩きます。整然と歩くその姿から、当時の様子が思い浮かびます。

① 二上山は町のシンボルともいえる山で、ラクダの背のような二つの頂（雌岳と雄岳）を持ち、美しい姿でそびえています。かつては「ふたかみやま」とも呼ばれ、万葉集にも詠われるなど、数多くの歴史のエピソードに彩られた山です。登山初心者でも気軽に楽しむことができ、雌岳山頂からは大阪側と奈良側の両方を一望するこがとぎまわ。